美山学だより

2学期
美山小・中
共同発行

「美山学」では、地域と学校と保護者が一緒になって子どもたちの学びについて考え、美山の歴史・文化・自然・人・物・事を教材として学び、様々な教科を通じて、自ら考える力、表現力、コミュニケーション能力を高める学習に取り組んでいます！

美山学のここがポイント！

南丹市立美山小学校
Tel：75-0017 Mail：miyama-es@kyoto-be.ne.jp
南丹市立美山中学校
Tel：75-0027 Mail：miyama-jhs@kyoto-be.ne.jp
令和２年１２月２５日発行 NO.１７

西日本最大級の原生の森、大学の研究の森としては 99 歳になった「芦生の森」へ！

中学校
１年生

佐々里から芦生へ、アシウスギの巨木群をめぐるコースに挑戦！

10 月 21 日、中学 1 年生は“ふるさと学習”として芦生フィールドワークに出発しました。今年は佐々里峠から美山町と京都市左京区の境となる尾根を歩き、京都大学芦生研究林内にある芦生杉の巨木を目指して歩きました。ネイチャーガイドの長野敏さん、芦生もりびと協会の鹿取悦子さん、青田真樹さんに案内をしていただきました。

佐々里峠を 9 時 45 分に出発して尾根伝いに約 1 時間半歩き「雷杉」に到着し、そこで昼食を食べました。雷杉は雷に打たれて幹の中が黒焦げになりながらも生き続けている杉の大木で、生徒たちはその生命力に感動した様子で見上げていました。

「板取りの跡の残る芦生杉」

昼食後、芦生研究林への急な斜面を下り、芦生杉の巨木を目指しました。芦生杉の巨木は研究林内の斜面に散在しており、５本の巨木を観察しました。今回見た中で最も大きな杉は林内で２番目の巨木で、胸高の廻りが９mあります。芦生杉の巨木の中には、昔、木地師（きじし）と呼ばれる人達が大きな板を切り出した「板取り」の跡を見ることができ、山の中で暮らしていた人たちの生業を感じることができました。

昨年は芦生のハイキングコースとして人気のある上谷コース（長治谷から杉尾峠）を芦生の森の植物を観察しながら歩きました。今年は芦生杉の巨木に自然の力強さを感じるフィールドワークだったと思います。今年のコースはアップダウンのあるハードな道程でしたが、1 年生全員が芦生杉の巨木までのコースを元気に往復し、午後 3 時ごろ佐々里峠に帰ってきました。生徒は芦生フィールドワークで学んだこと、感じたことを作文にまとめ、12 月 23 日のアンビシャスタイムで発表しました。芦生の森の自然の雄大さと雷などの自然の脅威、かつてそこで暮らした人々のこと、しんどかったが頑張って往復できた満足感など心に残ったことを話してくれました。

「芦生杉の巨木(左)と雷杉(右)」

小学校
4年生

芦生グリーンワールドを１泊２日の取組にしてさらに充実！

４年生は例年であれば、５月の新緑の季節に芦生の森でのグリーンワールド、９月に宿泊体験研修を実施してきました。今年は宿泊体験も美山町内の施設を利用することで、芦生の森での体験にたっぷり時間を使うことができ、さらに充実した活動が叶いました。

１日目９月 24 日は、杉尾峠から若狭湾を望み、由良川の最源流から上谷を下るコースを歩きました。芦生の森を知り尽くしたネイチャーガイドの高御堂麻理子さん、芦生もりびと協会の鹿取悦子さん、京都大学研究林の木本恵周さんにガイドをお世話になり、私たちの生活を支える川の水の流れをたどりながら、芦生の森の自然と人の営みを体感しました。

芦生もりびと協会さんには、事前学習にも学校へ来ていただき、自分たちの地域や家の位置を地図で見て、水の流れを確認し、森の様子を想像してから当日を迎えました。秋の森の中は、いろいろなにおいや音、実りを感じることができます。子どもたちはガイドさんの案内に耳を傾けながら、また、自分たちの興味のあるものを触ったり、においをかいだり、じっくり観察したりしてゆっくりと散策しました。

宿泊をお世話になった芦生山の家は、木の香りが漂う木造の建物で、芦生の森での滞在を一層楽しいものにしてくれました。夕食後には、普段の日中の体験では見ることのできない、夜の森の中での動物の様子を記録したものを映像で見せていただきました。

２日目９月 25 日は研究林の斧蛇館で展示資料を見せていただき、トロッコ道のガイドウォークを体験しました。１日目に歩いた上谷とは異なり、トロッコ道コースはその名の通り、以前はトロッコが走っていた軌道沿いに歩きます。一時は土砂降りの雨となりましたが、子どもたちは負けずにしっかりと歩き、芦生の大自然を堪能しました。

もりびと協会・研究林・学校を交えての振り返りの中では、都会から来る学校なら悪天候の場合は中止にしてしまうことも多い中、雨でも合羽を着て森を歩く体験ができたのは、やはり地元美山の子どもたちだからこそ。子どもたちは雨を嫌がることもなく、自然の様々な表情を感じて楽しんでいた様子で、かえって良い経験になったのではという意見が出されました。また、事後学習での絵画作品は、実際に見たからこそ描けるものになりました。

「事後学習での絵画作品」⇒

職場 中2　体験から地域へつながる～地域を明るく花いっぱいに～

２年生は１１月６日・９日・１０日の３日間、町内１３の事業所で職場体験学習を行いました。今年は新たに３つの事業所にお世話になりました。コロナ禍の中でも快く受け入れていただき、職場の皆さんに親切にしていただいて、「楽しかった。もっと行きたい。」と喜んで帰ってきました。事業所の皆さま、大変お世話になりありがとうございました。働くことの意義や自分の将来を考える良い体験ができたと思います。職場体験で学んだことを１２月のアンビシャスタイムで発表しました。

地域を花いっぱいに！

11 月 20 日、地域学校協働活動として新たな取り組みを行いました。今年は地域へ出向く機会が少ない生徒たちですが、少しでも地域とともにある活動をしたいと、中学生と地域の人たちが協働でプランターに花の苗を植えました。大変な時だからこそ、地域を明るく元気に「美山町を花いっぱいに」と、プランターを職場体験でお世話になった事業所・振興会等に飾らせていただいています。

特産 小5　たくさん！美山の農業、特産品見つけた！

タライでの米作りを体験した５年生は、美山で作られている特産品はほかに何があるかと意見を出し合いました。知井地区のきびもち、鶴ヶ岡地区の栃もち、平屋地区のブルーベリーにスポットを当て、ゲストティーチャーをお招きして、お話をうかがいました。「北村きび工房」の勝山直さん、「栃の里グループ」の小畑恵子さん、「ブルーベリー美山」の米山政郎さんです。

かやぶきの里にある「北村きび工房」は、平成５年に北集落が重要伝統的建造物群保存地区に選定される前から地域で加工グループを立ち上げて活動してこられました。昔と違い、きびを育てているところは美山町内でも珍しく、今ではかやぶきの里のお土産と言えば、きび工房のおだんご・おもちが当たり前と思われるほど定番の商品となりました。

鶴ヶ岡の栃原で活動されている「栃の里」は、集落で採れる栃の実を使って栃もちを生産されています。そのままだと渋くて食べることのできない栃の実は、気が遠くなるような工程を経て、茶色くておいしい栃もちへと加工されています。

「ブルーベリー美山」ではブルーベリーが美山の気候に合って育てやすいということで、生産を始められました。農繁期の忙しい時期ではない、６月から８月に収穫でき、１年間に1,５００キログラムも採れているそうです。ジャムなどにも加工し販売されています。

どの特産品も、地域の方が知恵を出し合い、努力や工夫をして生産されているものばかりでした。課題は、どこも生産者や関わる人たちの高齢化や人手不足で、子どもたちも何かできることはないかと考えるきっかけになりました。

歴史 小6　に迫る！語り継がれる物語と城跡から美山の昔と今を知ろう！

６年生になると社会科では歴史を学習します。特に戦国時代の話は、お寺や神社、地名にもその名を残し、現在の美山にも影響を与えていることが多くあります。その中から、今年は知井地区に伝わる「大鹿伝説」のお話を長野光孝さんにお聞きしました。また、北川正雄さんの案内で城山に登って、宮島地区に残る島城跡のお話をうかがいました。教科書に載っているような歴史的な出来事があった当時に、美山ではどのようなことが起こっていたのか思いをめぐらすことができました。お話を聞いた後で、地域の方やより多くの人に知ってもらいたいと、紙芝居を作ったり、パンフレットを作成したりして 12 月の参観日の際に展示をしました。地域の皆様にもご紹介できるように考えたいと思います。

秋 小1　見つけたよ！ススキの「ふくろう」がズラリ！

１年生は 11 月２日に旧知井小学校へ秋を見つけに出かけました。かやぶきの里から美山町自然文化村の前を通って旧知井小学校までを散策しながら歩く予定でしたが、雨のため散策はせずに、校舎内で楽しく活動しました。後日、地域から坂本二三恵さん、細尾周子さんに教えていただいて、ススキを使ったふくろう作りに挑戦しました。ズラリとならんだ個性いっぱいのふくろうがかわいいです。

★元気な子どもたちを見てください★

コロナ禍の中、小学校では学習発表会が開催できなかったり、中学校ではアンビシャスタイムにも地域の方にご参加いただけない、もどかしい日々が続いています。そんな中でも、子どもたちは毎日、元気に学校生活を送っています。12 月のアンビシャスタイムの発表内容は美山中学校のホームページ、南丹テレビ等でご覧いただけるよう検討しています。子どもたちの元気な様子を、ぜひご覧ください。

ホームページでは日々の子どもたちの様子を随時更新中です！美山学の取組についても紹介しています。ぜひご覧ください。